



8月、ラグーナ蒲郡は、ラグーナテンボスとして再出発を果たしました。



なぜラグーナ蒲郡は、運営を譲渡したのか。30億も支援するのはどういうことか。



ラグーナ蒲郡は開場以来、年間約30万人を集客する観光蒲郡の中心施設であり、市の地域経済や雇用に大きな影響を及ぼしています。

運営事業の譲渡は、さまざまな経営課題を抱えるラグーナ蒲郡の運営事業をそのまま承継し、維持、発展させ、現在の従業員も維持することを条件に、観光分野に実績のある株式会社エイチ・アイ・エスに譲渡が決まりました。今後はプールで賑

わう夏以外の季節や夜間の集客に力を注いでくれるものと考えております。

30億の交付金は、ラグーナ蒲郡が市全体の経済の活性化、賑わいの創出の拠点であることから、ラグーナ蒲郡地区から納付される固定資産税等相当額を支援するもので、市の財政全体の中で調整して確保していきます。

その後 11月、蒲郡海洋開発株式会社は、解散手続きに入ることになりました。県・市・トヨタ自動車株式会社の主要株主で、今後の対応策を協議した中で、ラグーナ蒲郡が新たな一歩を踏み出すための最良の選択と考えています。



23号バイパスが開通してから、オレンジロードの騒音・振動に悩まされている。



国道23号蒲郡バイパスの開通は、市街地の渋滞緩和や、名古屋方面へのアクセス改善の反面、オレンジロードの交通量の増加による騒音・振動には多くの意見をいただいています。



市民病院の診察の待ち時間が長い。初診でも再来でも、ずいぶん待たされる。



市民病院は、入院や高度医療を必要とする重症患者の救急診療を行う二次医療機関であるため、外来は原則として予約優先とさせていただきます。

まずは、地域の開業医（かかりつけ医）を受診してください。一次医療機関である地域の開業医で受診していただき、市民病院へご紹介をいただければ、初診より早めに診察や検査を受けることができます。かかりつけ医制度をご利用ください。また、待ち時間の対策として、



再来受付機左手奥にあります。ご利用ください。

騒音・振動が発生する原因のひとつとして、舗装の破損による凹凸や段差が考えられるので、舗装補修を実施していきます。蒲郡バイパスは、国土交通省名四国道事務所が整備を進めています。残りの未開通区間については昨年秋から工事に着手しており、全線開通まで5年ほど必要であると聞いています。早期の全線開通を目指して、今後も国に働きかけていきます。

26年1月に「まもなくコール」システムを導入しました。受け付け後、「まもなくコール」に登録すると、診察室の前に移っていただくタイミングでご連絡させていただきます。少しでも待ち時間の苦痛をやわらげることができるのではないかと考えています。